

「令和8年度横浜観光MICEワークショップ」を開催しました

(公財)横浜市観光協会は9月16日、「令和8年度横浜観光MICEワークショップ」を開催し、17社24名の事業者様にご参加いただきました。

本ワークショップは、賛助会員の皆さまと共に横浜の観光MICEに関する課題や事業者連携の可能性について意見交換を行い、具体的な連携事業の創出を目指して開催しています。

今回は、今年4月に開業した「OMO7 横浜 by 星野リゾート」の羽毛田 実総支配人にホテルのお取組についてご講演いただいた後、「横浜の滞在価値を考える」をテーマにグループワークを行いました。

横浜を楽しみ尽くすためのベストな拠点を目指して



「OMO7横浜 by 星野リゾート」は、「テンションあがる街ナカホテル」をコンセプトに掲げる、星野リゾートの「OMO」ブランドのホテルです。旧横浜市庁舎の建物を活用した、新旧の魅力が融合するレガシーホテルであるとともに、街を愛するスタッフ「OMOレンジャー」が横浜ならではの楽しみ方を提案する、多彩な体験コンテンツを提供しています。

講演では、建物を切り口に横浜の歴史や文化をひもとく「横浜レガシーウォーク」をはじめ、野毛のおすすめ飲食店を紹介する「野毛ホッピングセレクション」、ジャズとともに横浜の夜を楽しむ「ローカルリズムナイト」などの取組をご紹介いただきました。

こうしたコンテンツを毎日開催することで、宿泊者が滞在中いつでも横浜の街へ出かけ、その魅力に触れられる機会を創出しています。

また、新たな宿泊需要の開拓に向け、3階の全フロアを愛犬同伴のお客様専用としています。全276室の約12%を愛犬同伴者向けとすることは、当初は挑戦的な試みと捉えていたものの、開業後は多くのお客様に利用されているとのことです。こうした実績から、横浜は愛犬とともに滞在し、街歩きを楽しむ旅行と親和性の高いエリアであると実感しているとのお話がありました。

「宿泊したくなる横浜」を考えるグループワーク

後半では、「横浜の滞在価値を考える」をテーマにグループワークを実施しました。横浜の宿泊者を増やすため、横浜ならではの魅力やターゲット設定、具体的なコンテンツ、事業者間で連携できる取組について意見を交わしました。

特に、GREEN×EXPO 2027の来場者を横浜での宿泊や市内回遊につなげるためには、エキスポのテーマやストーリーと結びつけた、横浜ならではのコンテンツや体験を創出することが重要との意見が多く挙がりました。その実現に向けて、業種を越えた事業者同士の連携をすすめるとともに、それぞれの取組を点で終わらせず、一体となって発信していく必要性が共有されました。



最後に、参加事業者同士の交流を深めるために名刺交換の時間を設け、盛況のうちに終了しました。ご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。